

2025 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名	河 西 工 業 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 社長役員 古川 幸二 (コード: 7 2 5 6 東証スタンダード市場)
問合せ先	取 締 役 専 務 役 員 小 川 耕 一 (TEL: 0 4 6 7 - 7 5 - 1 1 2 5)

**(開示事項の経過) 2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信の開示が
四半期末後 45 日を超えること および
2025 年 3 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えることに関するお知らせ**

当社は、2025 年 2 月 14 日付「2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信の開示が四半期末後 45 日を超えることに関するお知らせ」および 2025 年 3 月 25 日付「(開示事項の経過) 2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信の開示が四半期末後 45 日を超えることに関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社である KASAI MEXICANA S. A. DE C. V. (以下「KMEX」) の過去の決算の誤りが判明したことに伴い、2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信を四半期末後 45 日以内に開示することができず、2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信および新・中期経営計画を 4 月下旬までに開示する予定としておりました。

当社は、2023 年 3 月期および翌 2024 年 3 月期において、財務報告に係る内部統制に開示すべき重要な不備があるとして開示を行っていることから、かかる状況を重く受け止め、2023 年 3 月期以降、KMEX の管理体制の再構築および内部統制上の課題解決に向けた取組みを続けており、2025 年 3 月期においても、外部専門家のサポートを活用し、改善活動を更に深化させることにより、内部統制の強化を進めておりました。

その活動過程で、2024 年 12 月に入り、月次ベースでの勘定残高の正確性をチェックするプロセスにおいて、一部の勘定科目における過去の誤りが判明しました。現在進めている社内調査が長引いておりますが、これは、過去に遡って数値を年度別に検証するため、取引先数・部品点数・受発注件数・インボイス件数・物品受領件数等、多岐に渡る大量のデータを分析する必要がある中、システムが保有しているデータの抽出、紐づけ、つき合わせ等が困難であり、IT 専門の人財を投入しても、想定を大幅に超える時間を要しているためです。

本件対応にあたっては、3 月中旬に KMEX、本社、外部専門家メンバーによる再発防止プロジェクトチームを設置、その後 IT 専門家を含む人員強化を実施し、更に 4 月下旬に本社からの更なる人員派遣を行い鋭意取り組んでおりますが、今後の細部の詰め作業や会計監査人による監査手続等の時間を踏まえると、2025 年 4 月下旬の開示は困難と判断致しました。

現時点において、2025 年 3 月期第 3 四半期決算短信の開示は、2025 年 6 月上旬から中旬を予定しております。日程が確定次第、改めてご報告致します。

なお、かかる状況から、2025 年 3 月期決算短信の開示につきましては、2025 年 5 月 15 日を経過することになるものの、6 月末日までの開示を予定しております。

決算発表等の再延期につきましては、株主・投資家のみなさま、関係者のみなさまにご迷惑をおかけしますこと、深くお詫び申し上げます。

以 上